

Gokeshidai Part 4

[原]

部從發歌笛聲立挿頭花臺、置螺盃銅盞、
四獻、
五獻、
敷重坏料圓座、
舞人座二所、
陪從座一所、
給重坏五重許、
舞人前二人、
陪從座一人、
螺盃銅盞近代不行、

五位藏人着挿頭花臺下、公卿以下次第就挿頭花臺下、五位藏人次第傳之使、舞人
以下、陪從料、五位藏人、使以下退出、
宸儀入御

藏寮徹饌物等掃部徹座主殿掃除

[読]

部從（べいじゅう）、歌笛¹聲（かてきせい）を發（はつ）す、
挿頭花（かざしばな）臺（だい）²を立つ、螺盃（らはい）、銅盞（どうさん）、
四獻（しこん）、
五獻（ごこん）、
重坏料（かさねかわらけりょう）³の圓座（えんざ）を敷く、

¹歌笛：指穴六つの横笛で、もっぱら東遊びをするのに用いたもの。高麗笛(こまぶえ)に似てやや大形。のちには高麗笛で代用することが一般化して、用いられなくなった。狛笛(いぬぶえ)に似るが、狛笛よりも大きなもの。中管。『大辞林』『日本国語大辞典』A horizontal flute with six finger holes, often used in court and other rituals for the gods (*azama-asobi*); slightly larger than other types of flutes. *Nihon kokugo daijiten*.

²かざしの台(だい・うてな)：「かざしの花」を載せる／立てて置く台。『日本国語大辞典』vol. 3, p. 553 次のページの絵に参照 A platform to place sprigs of flowers for hair adornments. *Nihon kokugo daijiten*, Vol. 3, p. 553. See drawing, next page.

³「料」と「円座」が同時に使用される例は、『有職故実大事典』にいくつか見られる。例えば、円座には「厚薄によって厚円座と薄円座の区別があり、厚円座を大臣の料としている。」とあり、また、「僧都法眼の円座は大納言の料に、律師は参議に準じている。」のように使われている。この場合の「料」の意味は、1) 「名詞に助詞の『の』を伴ったものに付いて、そのものに利益・恩恵を与える事を表す。一のための...。」(『日本国語大辞典』) という意味と考えられる。1) の意味の他に「料」には、2) 「器具、衣服、飲食物等、何かの用にあたる物」(『日本国語大事典』) という意味もある。2) の意味で本文を解釈すれば、A. 重坏を振る舞う時に必要な食器類(何枚もの盃)や酒ともとれる。しかし、「円座」は人が座るものとしてのみ使われると理解するなら、「円座」を「ある用にあてる人」(『日本国語大事典』) と解釈して、B.

舞人座二所、
陪従座一所、
重坏五重（いつかさね）許（ばかり）を給ふ、
舞人前（まひびとのまえ）二人、
陪従座一人、
螺盃銅盞、近代行はず、
五位蔵人、挿頭花臺の下（もと）に着す、公卿以下、次第（しだい）⁴に挿頭花臺の下に就く、五位蔵人、次第に之を伝ふ、使、舞人以下、陪従料、五位蔵人、使以下退出、
宸儀（しんぎ）入御（にゅうぎよ）、
蔵寮⁵（くらりょう）、饌物（みけつもの）⁶等を撤（てつ）す、掃部（かにもり）⁷、座を撤（てつ）す、主殿（とのもり）⁸、掃除、

[現]

- 1) 陪従は歌笛の音を出す。（蔵人が）挿頭花の台を立てる。螺盃と銅盞を置く。
- 2) 四献を回す。
- 3) 五献を回す。
- 4) a. 重坏料の（重坏を勸盃する人達の）座を敷く。舞人の座は二カ所、陪従座を一カ所（用意する）。
b. 重坏は五枚重ねを振る舞う。舞人の前に二人、陪従の座（の前に）一人（お酒をつぐ人）がいる。最近、螺盃と銅盞を行わない。
- 5) 五位蔵人は挿頭花台の下につく。（そして、）公卿以下が順々に挿頭花台の下につくと、五位蔵人は順に、これ（挿頭花）を（公卿に）渡す。使い・舞人以下<（においては、頭の右側に挿頭花を挿す...>。陪従料に<においては、殿上四位以下が、これ（挿頭花）を渡す。>（公卿に挿頭花を手渡す役目である）五位蔵人<は、挿頭花を分けることについては、位階を問わない。最後の人が挿頭花を挿してもらう時に、侍臣（挿頭花を手渡す蔵人等）の数が足りない時は、数人の挿頭花をまとめて取って渡してよい。>
- 6) 使い以下が退出する。
- 7) 天皇が（清涼殿に）お入りになる。

重坏を相伴する人と考えられる。ここでは、Bの意味として解釈した。『有職故実大事典』p. 83.

『日本国語大辞典』vol. 13,p. 926

⁴ 序列に従って。順々に。次々。

⁵ 内蔵寮（くらりょう）：令制で、中務省に属し、金銀・珠玉・宝器を管理し、供進の御服、祭祀の奉幣などをつかさどった役所。『日本国語大辞典』vol. 4, p. 1058

⁶ そなえた飲食物『大漢和辞典』p. 13023

⁷ 掃部：掃部寮（かもんりょう）に同じ。令制官司の一つ。宮内省に属して、宮中の掃除や設営の事をつかさどる。『日本国語大辞典』vol. 3, p. 1030

⁸ 主殿：令制で宮内省に属して、行幸の際の諸施設、および宮中の殿舎・調度の維持管理をつかさどった役所。またはその役人。主殿寮（とのもりりょう／とのもりょう）・殿司（とのもりづかさ）に同じ。『大辞林』『日本国語大辞典』vol. 9, pp.1298-99

8) 蔵寮の役人が食べ物等の御膳を撤収し、掃部の役人が座を撤収し、主殿の役人が掃除をする。

[英]

Musicians play flute music. (The royal secretary should) erect the stand for sprigs of flowers for hair adornments.⁹ Also place the green turban snail-shell cups and bronze cups (on the low tray tables).

Fourth round.

Fifth round.¹⁰

Lay out the round cushion for the nested cup-bearers.¹¹

There should be two places for the seats for the dancers.

There should be one place for the seats for the musicians.

Five nested cups of the same size are offered to the dancers, the royal messenger, and those of lower ranks.

Two people are in front of the seats for dancers (to pour sake for them).

One person is in front of the seats for the musicians (to pour sake for them).

In recent times the green turban snail-shell cups and bronze cups have not been used.

The fifth-rank royal secretary goes to the platform for the sprigs of flowers for hair adornments; then senior nobles and others (members of the Royal Secretariat and royal intimates) gradually approach the platform for the sprigs of flowers; and the fifth-rank royal secretary distributes these (flowers) in sequence to the royal messenger, dancers and others, and to the musicians. The fifth-rank royal secretary, royal messenger and others withdraw.

The sovereign goes in.¹²

Members of the Palace Storehouse Bureau¹³ clear away the edibles and trays.

Housekeepers¹⁴ clear away the seating materials. Palace custodians¹⁵ clean (the area).

⁹ Alternate for 挿頭花 is, “hair-adornments made of flowers.”

¹⁰ See footnote from previous section referring to 献.

¹¹ There are several examples of uses of “ryō” and “enza” in *Yūshoku kōjitsu daijiten*, p. 83. For instance, “Enza refers here to the seat for the people bearing the nested cups, not as a resting place for the cups themselves. A description of enza can be found in *Yūsoku kojitsu daijiten*, p. 83.

¹² Probably to the 清涼殿 (Seiryōden: Limpid Cool Hall) Shiveley, *The Cambridge History of Japan, Volume 2: Heian Japan*.

¹³ *Kuraryō* 蔵寮、Palace Storehouse, from Richard Miller, *Japan's First Bureaucracy*.

¹⁴ *Kanimori* 掃部 Housekeeper, from Richard Miller, *Japan's First Bureaucracy*.

¹⁵ *Tonomori* 主殿 Palace Custodian, from *tonomoribe* 主殿部 (palace custodian) and *tonomo-ryō*, 主殿寮 (Palace Custodians and Supply), Richard Miller, *Japan's First Bureaucracy*.

参照資料・Additional Materials

語彙

(1) 垣下 (えんが／ゑんが)

朝廷または貴族の屋敷で催される饗宴(きょうえん)のとき、正客の相伴(しょうばん)をする人。えが。かいもと。接伴。

(2) 垣下の座 (えんが-のざ／ゑんがのざ)

垣下の役の人が着座する所。えがのざ。

(3) 相伴 (しょうばん／しやうばん)

正客の相手をしてともにもてなしを受けること。また、その人。おしょうばん。

挿頭花の例

Examples of sprigs of flowers for hair adornments:



臨時の祭の挿頭の花 (『旧儀式之次第』より)

祭の使と舞人・陪従の挿頭 (『紫式部日記絵巻』より)

From *Yūsoku kojitsu jiten*, p. 132